

令和八年六月一日 開会
令和八年六月魚津市議会定例会提出議案

市長提案理由説明要旨

本日ここに、令和八年六月魚津市議会定例会が開催されるに当たり、市政運営について所信の一端を申し述べますとともに、提案いたしました案件について、その概要をご説明申し上げます。

はじめに、「今般の経済情勢」について、申し上げます。

五月二十六日に発表されました政府の「月例経済報告」では、個人消費や設備投資などは持ち直しの動きがみられるものの、見通しが不透明な中東情勢を踏まえ、「景気は、緩やかに回復しているが、中東情勢の影響を注視する必要がある」、とされております。

先行きにつきましては、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されるものの、中東情勢の影響を注視する必要がある。また、金融資本市場の変動の影響などに注意する必要がある、と示されております。

消費者物価指数につきましては、上昇傾向が続きながらも伸び率は縮小しており、物価上昇の鈍化がみられたものの、中東情勢の混乱によるエネルギー価格高騰の影響を受け、国は、予備費を活用した電気・ガス料金の補助の実施を閣議決定するとともに、さらなる支援のための補正予算編成が予定されております。

本市の経済情勢につきましては、魚津管内における四月の有効求人倍率が一・四一（前年同月：一・二六）と、求人が求職を上回る状況が続いているものの、物価の上昇や社会情勢の影響を注視していく必要があります。

このことから、本市といたしましては、今後の経済状況や国・県の動向を注視しながら、地域経済の回復と安定的な市民生活の確保に向けて、適時必要な対策を講じてまいりたいと考えております。

次に、「第五次魚津市総合計画・第十二次基本計画」について、申し上げます。

本市では、令和八年度から令和十二年度までの五年間を期間とする、市政運営の指針である「第十二次基本計画」を本年三月に策定いたしました。

本計画は、市の最上位計画である「第五次魚津市総合計画」の後期五か年を担うとともに、人口減少対策の推進の柱となる「第三期魚津市まち・ひと・しごと創生総合戦略」と整合性をもたせた一体的な計画として策定し、将来都市像であ

る「ともにつくる 未来につなぐ 人と自然が輝くまち魚津」の実現に向け、DXの推進や地域活力の創出など、社会情勢の変化に的確に対応したまちづくりを推進するものであります。

重点施策については、人口減少に対応した施策を、優先的に取り組む施策として位置づけ、人口減少の「緩和」に取り組む一方で、社会の変化に合わせた「適応」の両面から、総合的かつ重点的に対策を推進し、活力あるまちづくりを進めてまいります。

次に、「最近の市政の取組状況」について、申し上げます。

去る四月二十六日に、「第四十六回魚津しんきろうマラソン」が今年も盛大に開催されました。

今大会は、昨年より三百三十九名多い四千八百七十六名の方がエントリーされ、ゲストランナーとしてYKK陸上長距離部の選手や昨年の富山マラソン女子の部で大会新をマークして優勝した守内美結選手をお招きして大会を盛り上げていただきました。

大会開催中には、八年ぶりとなるAランクの蜃気楼が観測され、肉眼でも鮮明に確認できる蜃気楼を見ながら魚津の地を爽快に走ることができたことは、参加されました市内はもとより全国のランナーの皆様にとって、忘れられない大会になっていただけたものと思っております。

今後とも、スポーツの振興と併せて本市の魅力をしっかり発信し、感じていただくとともに、交流人口の拡大につながる大会となるよう努めてまいりたいと考えております。

また、五月十七日には、魚津駅前通りにおいて、「第十四回よっしゃ来い！！CHOUROKU(ちょうろく)まつり」が開催されました。

「ダンスコンテスト」では、スクール部門に十六チーム、コンテスト部門に二十八チームが出場し、趣向を凝らしたオリジナルのダンスが披露されました。「よさこい魚津」では、県内外から十一団体が参加され、迫力ある力強い演舞を披露されました。熱気あふれる華麗な踊りに会場全体が大いに盛り上がりおりました。

また同時開催イベントとして、市役所前公園では「魚津ビアパーク」、魚津駅前大通りでは「トヤメキ・マルシェ」が開催され、飲食店やフリーマーケットに多くの方がご来場いただき、楽しんでいただけたものと思っております。

地域の賑わいと活気を生み出すこのイベントは、市民に元気と活力を与えると同時に、交流人口の拡大にもつながったと感じております。

次に、五月十一日にありそドーム、十四日に新川文化ホールにおきまして「市民との意見交換会」を開催いたしました。今回は「富山地方鉄道本線のあり方」及び「公共施設料金の見直し（案）について」の二つのテーマについて説明を行ったのち、参加された皆様との意見交換会を行いました。

開催両日合わせて六十一名の方にご参加いただき、忌憚のない、様々なご意見をお伺いすることができました。

どちらのテーマも市民の皆様の生活に直接かかわるテーマであり、人口減少などの社会が変化していく中で、どのようにサービスを維持していくのかが重要な課題であります。今回皆様からいただきました意見をもとに検討を進め、引き続き取り組んでまいりたいと考えております。

それでは、「今定例会に提出いたしました案件」について、ご説明申し上げます。

まず、予算関係の議案といたしまして、「議案第二十九号 令和八年度魚津市一般会計補正予算（第二号）」は、歳入歳出予算の総額に三千百九十五万四千円を追加し、歳入歳出予算の総額を、それぞれ二百十二億七千三百八十九万五千円としたいのであります。

今回補正する主なものは、星の杜小学校と台湾^{しんべいしほんちやおくけいしゅう}新北市板橋区溪洲国民小学校との姉妹校締結に係る費用のほか、小学校給食の非喫食児童への支援、企業版ふるさと納税を活用したじゃんとこい魚津まつりへの支援、国や県の補助を活用した新規就農者や富山県産米「富富富」の生産拡大に取り組む認定農業者への支援など、必要欠くことのできないものに限定し、計上いたしました。

これらの財源として、国庫支出金、県支出金、寄附金、繰越金及び市債を充当いたしております。

「議案第三十号 令和八年度魚津市水族館事業特別会計補正予算（第一号）」につきましては、歳入歳出予算の総額に百五十五万八千円を追加し、歳入歳出予算の総額を、それぞれ三億五百九十九万一千円としたいのであります。

今回の補正は、魚津水族博物館に新たに発光生物コーナーを設置するための準備費用を増額するものであり、財源として繰入金を充当いたしております。

予算以外の議案といたしましては、まず、条例関係の議案といたしまして、議案第三十一号から第三十六号まで、「魚津市地方拠点強化のための固定資産税の課税免除及び不均一課税に関する条例の一部改正について」など、一部改正を六件提案いたしております。

また、その他の議案といたしましては、議案第三十七号から第四十一号まで、「避難所冷暖房用資機材調達に係る物品売買契約の締結について」など、五件提案いたしております。

最後に、報告案件といたしましては、報告第三号から第六号まで、「令和七年度魚津市継続費繰越計算書」などについて、四件報告いたしております。

以上、本日提出いたしました案件の説明といたします。

何とぞ、慎重審議のうえ、議決賜りますよう、お願い申し上げます。